

令和8年第3回大崎市議会定例会一般質問発言通告書

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項
1	21	佐藤仁一郎	大綱1 鳥獣被害対策のさらなる推進策について (1) ツキノワグマの被害防止策について ア 令和8年度のツキノワグマの出没状況及び捕獲頭数を伺う イ 放任果樹伐採事業の進捗状況及び今後の方向性を伺う ウ 多数の目撃情報や人的被害が報告される。被害を防止するために、国や県などの関係機関にも対策強化を求めるよう提案してきたが、その状況を伺う (2) イノシシによる被害の軽減策について ア 令和8年度におけるイノシシの被害状況および捕獲頭数を伺う イ 侵入防止対策の状況とそのさらなる強化策について伺う (3) ジビエ食肉処理加工等施設運営状況について伺う ア 令和8年度にジビエ食肉処理加工等施設に搬入されたイノシシの頭数及びジビエとして活用できた頭数を伺う イ 大崎ジビエのさらなるPR策を伺う 大綱2 多面的機能支払交付金事業への取組支援について伺う (1) 令和8年度における取組団体数を伺う (2) この事業に取り組む団体の申請圃場面積に、一時的に変化が生じた時、補助金の交付額にも影響があるのか伺う (3) この事業の中では、基礎的な保全管理や施設の長寿命化を推進するとしているが、一時的に耕作ができない圃場が生じた場合は、補助対象面積から外されるのか伺う (4) 水田所有者が死亡し相続人がいない時、その土地の所有は誰に帰属するのか伺う 大綱3 総合支所職員人数の基本的配置状況を伺う (1) 各総合支所の人員配置状況を伺う (2) 働き方改革の観点からも平等性に目を向けるべきであるが、所見を伺う 大綱4 本市の人口減少対策及び企業の人材確保支援策について (1) 会派創清会及び大地の合同で本年8月に姉妹都市である黒部市を訪問し調査を行った。黒部市では、市内に就職し転入した方に対して就職定住促進事業補助金制度が設けられていた。対象は正規雇用者で、初居住者やUターン者の場合は一人当たり15万円が支給され、同居の18歳以下の家族には5万円が支給されるという制度で、地元での就職を機に転入・定住を推進していた。大崎市の人口減少対策及び移住・定住促進の参考になると思うが、所見を伺う
2	22	八木吉夫	大綱1 不登校問題について

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項
3	8	荒井純	(1) 問題の原因究明及び解決策を伺う (2) 民間で行っているフリースペース等は、学校と比較してどのように見ているのか伺う (3) フリースペース等子どもを受け入れている設置者と子どもを通わせている保護者の経済的負担の軽減策を伺う 大綱1 誰一人取り残さない防災について (1) 避難行動要支援者名簿と個別避難計画の作成・更新状況はどうか伺う (2) 個別避難計画に基づく避難訓練の効果を検証しているか伺う (3) 福祉避難所の受入人数、運営人材、必要物資などの体制は十分か伺う (4) 障がい者や医療的ケアを必要とする人に対応できる避難先、非常用電源を確保しているか伺う (5) 障がい特性に応じた情報伝達と、行政、福祉、医療、地域の連携体制をどのように構築するか伺う 大綱2 障がいのある人の雇用促進と地域共生について (1) 市内の障がい者の就労状況、一般就労への移行者数及び職場定着率を把握しているか伺う (2) 岡山県総社市を参考に、企業開拓から就労、職場定着まで一貫して支援する体制を構築できないか伺う (3) 福祉、商工、教育、農業が連携し、農福連携や市の業務など新たな仕事を創出できないか伺う (4) 安心して地域で暮らせる社会実現にむけ、就労と生活を切れ目なく支援する体制を強化できないか伺う (5) 大崎市独自の障がい者雇用目標を設定する考えはあるか伺う
4	13	小玉仁志	大綱1 持続可能な地域コミュニティの形成について (1) 新興住宅地のコミュニティ形成の現状認識について (2) 人口集中地域の課題把握、状況と内容について ア 大崎市でも人口減少地域と集中している地域ではその課題が異なる。減少地域の課題にスポットが当たることは多いが、集中している地域の把握状況と課題認識はいかがか (3) 地域コミュニティ形成、担い手不足に対する支援や仕組みづくりについて ア 区長や班長の任期満了に伴う交代時に心理的不安、負荷から担い手が決まらないケースや運営が難しいケースに対し持続的運営を可能にする対応が必要と考えるが、人口の多い地域では難易度が高い場合が多い。仕組みづくりなど行政支援の現在について伺う 大綱2 「活力あふれる産業のまちづくり」について～地域経済の「稼ぐ力」を高めるための戦略と評価～ (1) 共通認識として見ることのできる産業振興施策の成果指標、地域経済の稼ぐ力はどのようにして把握されているか

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項
5	20	早坂憂	(2) 産業政策をより効果のあるものにするための、地域経済を分析・評価する機能の現在について
			ア 産業政策の効果や政策の方向性を考える上で、誰が見ても理解できる客観的な視点の指標が必要と考える。地域経済を底上げするという共通目標が行政・民間ともに数値化していると戦略が立てやすいがその考えについて伺う
			(3) 専門組織の必要性及び今後の取組方針について
			ア DMO・スポーツコミッション等の専門組織は国の施策により、分析、評価、立案に役立てられ、各分野の振興に寄与しているが、本市での取組の現在地あるいは必要性について伺う
6	9	菅原智宏	大綱 1 シティプロモーションと友好都市協定締結について
			(1) 首都圏拠点を活用した「大崎」ブランドの発信とシティプロモーションの強化について所見を伺う
			(2) 鹿児島県大崎町等との「食・環境」を軸とした自治体間連携および友好都市締結について所見を伺う
			大綱 1 佐賀川の水門とこれからの水害対策について
			(1) 佐賀川水門の操作と連絡体制について
			ア 今回の豪雨による佐賀川周辺の浸水被害について、水門操作の状況、操作員への連絡体制、市・県との連携に問題がなかったか伺う
7	26	木内知子	(2) 佐賀川の監視・排水対策について
			ア 佐賀川の水位を早期に把握するための監視カメラの設置や、排水ポンプ車等による排水体制をどのように強化するのか伺う
			(3) 今後の佐賀川の洪水・浸水対策について
			ア 今回の被害を教訓として、佐賀川の水門・排水施設・河川管理を含め、今後の洪水・浸水被害を防ぐために、市としてどのように県と連携し対策を講じていくのか伺う
			大綱 1 行財政運営の改善に向けた取組について
			(1) 議会で指摘した疑問のある支出についての検証について
8	19	山口壽	(2) 官地の不法占用への対応について
			大綱 2 鉾害対策事業でつくられた揚水施設の一部破損への対応について
			(1) 法律上施設の所有権は大崎市でないのか
			(2) 応急対策と復旧対策について
			大綱 3 近年の気候変動による災害リスクへの対応について
			(1) 河川及び雨水排水施設の整備・維持管理の現状検証について
8	19	山口壽	(2) 大崎市雨水管理総合計画の見直しの必要性について
			大綱 1 大崎市における企業誘致の現状について

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項
9	24	遊佐辰雄	(1) 大崎市で過去5年間に誘致企業は何社あったのか、また、その企業の本拠地は県内、県外もしくは国外の内訳を伺う
			(2) 企業誘致を行う対策として、優遇している事項は何かあるのか伺う
			(3) これまでに企業からの進出へのアプローチなどはなかったのか伺う
			大綱2 大崎市のバイオマス事業と森林環境譲与税の活用について
			(1) 大崎市の施設で現在稼働しているバイオマスを活用したものがどれだけあるのか、また、これから活用する計画があるのか伺う
			(2) 環境譲与税を活用した市民や企業に対してバイオマス事業を推進する考えを伺う
			大綱1 第10期高齢者福祉計画・介護保険計画に向けた取組について
			(1) 特定地域サービス、特定地域居宅サービス等事業の創設の見通しについて ア 介護保険サービスの低下につながるのではないかと
			(2) 介護基金の活用で保険料の引き上げが抑えられるのか ア 基金の残高はいくらになるのか
			大綱2 国民健康保険税の今後の見通しについて
10	1	吉越美穂	(1) 令和12年度には県に完全統一するようだが、統一すれば大幅に保険税が上がる。統一せず市独自で運営してはどうか
			大綱3 国道108号鬼首の迂回路の整備について
			(1) 安全な迂回路を整備するよう県と国に対し強く要望することについて
			大綱4 今年の米価の見通しと支援策について
			(1) 昨年より大幅な引下げになった場合の農家支援策について
			大綱1 子どもと子育て世代が安心して過ごせる遊び場・居場所づくりについて
			(1) 屋内遊び場の必要性について ア 市民からの要望をどのように把握しているか イ 他自治体の整備事例をどのように調査・研究しているか
			(2) 既存施設等を活用した屋内遊び場の整備について ア わくわくランドの機能拡充による対応について イ 廃校等の既存施設や商業施設との連携による整備について
			(3) 屋外・イベント・出張型の遊び場の充実について ア 公園の遊具・設備の充実について イ プレイカーや水遊びイベントの継続・充実について
			大綱1 国道4号拡幅計画の進捗状況について
11	23	木村和彦	

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項
12	11	鎌内克美	(1) 地域住民説明会の状況について ア 住民感情について イ 今後の対応について
			大綱2 不登校の対策について (1) 廃校の利用策について ア 売却・貸出の条件について
			(2) 民間活力の考え方について ア 周知の方法について
			大綱3 敬老事業の見直しについて (1) 祝い金の考え方について (2) 事業の形態について
			大綱1 さくら保育園の建て替えについて (1) さくら保育園の建て替えの具体的な支援策について
			大綱2 安全・安心のまちづくりについて (1) 大災害に対応する小学校、中学校の体育館へのエアコン設置について (2) 市街地の道路標示について
			大綱3 身元保証制度の実現に向けて (1) 国が進める身寄りのない高齢者支援について (2) 高齢者の要求や不安に応える調査活動と集約について (3) 大崎市での相談窓口や支援策について
			大綱1 自然災害から市民の命と暮らしを守る防災・避難体制の強化について (1) 災害時の情報伝達体制の強化について (2) 要支援者の命を守る個別避難計画の策定促進と福祉避難所の実効性確保について (3) ペット同行避難の体制整備について
			大綱2 居宅介護支援事業所におけるケアマネジャー（介護支援専門員）の働きやすい環境づくりについて (1) ケアマネジャー（介護支援専門員）の役割と認識について (2) 法定外業務（シャドウワーク）の実態と認識について (3) 法定外業務（シャドウワーク）の改善に向けた取組について (4) 意欲向上と人材確保につながる評価と表彰制度について
13	5	遠藤彰	

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項
14	16	法華栄喜	大綱 1 大崎ジビエの販路拡大と地域資源化について (1) ジビエの用途を食肉に留めず、加工品やペットフードなどへ広げ、地域資源としてのさらなる活用、価値向上を図る取組について伺う (2) イノシシ捕獲後の施設搬入時間による処理数の制約を踏まえ、ペットフードなどへの用途拡大により有効活用できる可能性があると考えているが、市の考えを伺う (3) イノシシの減容化後に発生するおがくずを肥料などとして有効活用する取組を進める考えはあるか伺う (4) ペットフードなどへの用途拡大により、大崎ジビエをふるさと納税の返礼品として活用し、販路拡大や地域資源としての価値向上にもつながると考えるが、市として今後取り組む考えはあるか伺う 大綱 2 大崎市の災害対応と避難所環境の強化について (1) 災害備蓄品の分散保管など、リスク分散の取組について伺う (2) 夏季・冬季など、季節に応じた備蓄品の衣替えの取組について伺う (3) 夏季に大規模災害が発生した場合の、避難所の暑さ対策の現状と今後の強化について伺う (4) 常襲冠水地域において、水害後の道路や側溝等を早期に復旧するための体制や取組について伺う
15	2	五島啓太	大綱 1 大崎市の防災体制について (1) ハザードマップにおける指定避難所の安全性と運用について所見を伺う (2) 備蓄品の適正配置と管理体制について所見を伺う (3) 緊急車両の通行確保に向けた道路啓開と被災車両の保管ヤード確保について所見を伺う 大綱 2 「食と美酒」を核とした夜のにぎわい創出と地域経済の活性化について (1) 大崎フードフェア2026をはじめとする大崎耕土の食・地酒を生かした食文化の魅力創出について所見を伺う (2) 居酒屋から接待型飲食店までを含む市内各地域の夜の街・飲食街の活性化支援について所見を伺う (3) 宿泊客や外国人観光客を中心とした夜の消費拡大と各地域の受入環境整備について所見を伺う
16	4	川合明弘	大綱 1 病院事業について (1) 連携協約が締結されている医療機関との連携について現状と今後の展開を伺う (2) 大崎市民病院と姉妹病院である市立宇和島病院の連携について現状を伺う (3) 大崎市民病院DMATの活動実績と体制について伺う 大綱 2 障がい児・者歯科診療について

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項
17	14	山田匡身	(1) 障がい児・者歯科診療の開始までの経緯について伺う (2) 大崎口腔保健センターでの開所から約1年が経過したが、現状について伺う 大綱1 大規模災害時における本市の応援・受援体制について (1) 大規模災害発生時の本市の基本的な応援体制について (2) 他自治体からの応援職員の受入れについて (3) これまでの受援実績と、今後の大規模災害への備えについて 大綱2 コミュニティ・スクールの推進について (1) 導入の意図について (2) 学校・地域の連携の在り方について (3) 地域の参画と情報発信について 大綱3 流域治水の推進について (1) 内ノ浦地区の排水ポンプ車設置ヤード整備について (2) 江合川・鳴瀬川水系における河道掘削について
18	15	加川康子	大綱1 行財政改革につなげるDXの推進について (1) 行政診断を踏まえた行財政改革の推進について ア 行政診断によって、本市の行財政運営における課題や、改革を効果につなげるための仕組み・プロセスの見直しの必要性が示された。行政診断によって明らかになった課題を踏まえ、どのような業務改革を進め、人的・財政的資源の有効活用を含む行財政改革につなげていくのか。 (2) 現場から業務改革につなげるための課題把握と推進体制について ア DXを通じた業務改革を全庁的に進めるためには、一部の部署や特定の業務だけの取組とするのではなく、各担当課・担当者が日々の業務における課題を自ら捉え、業務そのものの見直しにつなげていくことが重要であると考えている。各部署の業務内容や業務量、職員や市民の負担、業務上の課題をどのように把握しているのか。また、各担当課・担当者が自ら業務上の課題を認識し、BPRによる業務の見直しにつなげていくため、どのような仕組みや支援体制を構築していくのか。 (3) DXを通じた変化と業務改革の定着について ア DXの成果は、システムの導入件数や手続のオンライン化件数だけではなく、その取組を通じて、市民の利便性や行動、職員の業務や働き方にどのような変化が生じたのかという観点から捉える必要があると考える。DXを通じて、市民の利便性や行動、職員の業務や働き方にどのような変化をもたらそうとしているのか。また、その変化や効果をどのように把握・検証し、その成果や取組を庁内で共有・横展開することで、各担当課・担当者による継続的な業務の見直しにつなげていくのか。 大綱2 乳幼児期からの子どもの身体と気持ちの尊重について (1) 乳幼児期・未就学期における子どもの身体や気持ち、意思の尊重について

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項
19	17	山口文博	ア 本市では、生命の安全教育やデートDV予防学習など、自分を大切にし、他者を尊重するための取組を進めてきた。また、第2次大崎市健康増進計画後期計画では、胎児期から高齢期までを通じたライフコースアプローチを掲げている。自分を大切にし、他者を尊重する意識は、学校期に学ぶだけでなく、乳幼児期からの日々の関わりの中でも育まれていくものと考え。自分の身体や気持ちが大切に扱われ、自分の意思や反応を表してよいと感じられる経験は、その土台となるものである。乳幼児期・未就学期において、子どもの身体や気持ち、意思を尊重する関わりについて、本市では現在、保護者に対しどのような情報提供や啓発を行っているのか (2) 既存事業を活用した継続的な情報提供・啓発について ア 子どもの身体や気持ち、意思を尊重する関わりは、日々の子育ての中で積み重ねられるものであり、保護者に対しても、子どもの発達段階に応じた情報を継続して届けていくことが重要であると考え。乳幼児健診、新生児訪問、育児相談、子育て支援センター等の既存の機会を活用し、子どもの身体や気持ち、意思を尊重する日常の関わり方について、保護者に対し、発達段階に応じた情報提供や啓発を継続的に行ってはどうか 大綱 1 大崎市の農業生産向上と営農の持続を図るための農業水利施設・農道等の補修・改修や更新について (1) 農業水利施設におけるストックマネジメントの取組について伺う (2) 老朽化により破損したり耐久力や機能が低下した農業水利施設の更新・改修に対する支援制度について伺う (3) 地震などの自然災害による幹線用水路や農道等の蛇行・沈殿や破損等に対する修繕費や改善費の補助金・交付金の考えについて伺う (4) 多面的機能支払交付金による用水路や農道等の適切な保全管理の現状について伺う (5) 農地耕作条件改善事業や水利施設整備事業・農業競争力強化農地整備事業等について伺う 大綱 2 吉田川・新たな「水害に強いまちづくりプロジェクト」と鹿島台地域の水害対策の推進について (1) 令和元年台風19号により鹿島台地域が水害による甚大な被害を受けて、新たな水害に強いまちづくりプロジェクトが事業として実施されている。そこで、大崎市の実績と将来について伺う (2) 排水機場や排水路の改修を行う国営総合農地防災事業に対する大崎市の関わりと認識について伺う (3) 平成30年第3回定例会での一般質問で、鹿島台地域の洪水対策として土地改良区の排水事業を円滑に運営するための排水費補助率の見直しについての質問に対し、事態を把握して負担の在り方を検証するとの答弁をいただいたが、その後の検証結果について伺う
20	3	平野洋子	大綱 1 オーガニックビレッジの現状と今後の展望について (1) 農産物の高付加価値化と地産地消について ア オーガニックビレッジの取組の現状と今後について伺う イ 学校給食における地産地消について伺う ウ 官民連携の取組について伺う

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項
21	6	富田堅治	大綱 2 デジタル化の推進と誰もが利用できる環境づくりについて (1) デジタル化を支える人材について ア デジタルを活用するための支援体制について伺う
			大綱 3 大崎市流地域自治組織の現状と今後の取組について (1) 地域の担い手づくりと地域間交流について ア 地域同士が知り，学び，交流する仕組みについて伺う
			大綱 4 地域包括ケアシステムの深化と多職種連携について (1) 地域資源を活用した健康づくりと介護予防について ア 専門職や地域の見守り活動との連携について伺う
			大綱 1 夜間急患センターや地域医療連携拠点施設の整備について (1) 地域医療連携拠点施設の整備について現在の進捗状況及び完成予定の時期について (2) 施設が完成し稼働を開始するまでの夜間急患センターの体制について
			大綱 2 大崎市におけるジビエ事業（大崎ジビエ）の現状と今後の課題・展望について (1) 大崎市のジビエ事業の現状について (2) ジビエの産地間競争と原料確保の安定性について (3) これからの展望について
			大綱 3 田尻地域大沢・百々地区の水害被害について (1) 被害状況の認識について (2) 今後の対策について
			大綱 1 現段階での2026年産米の概算金水準を踏まえた本市の受けとめについて (1) 本県の米価見通しについて所見を伺う (2) 本市の経済に与える影響について所見を伺う (3) 農家が抱える不安と本市の捉え方について所見を伺う
			大綱 2 指定管理者制度について (1) これまでの成果と今後の課題について所見を伺う (2) 市民サービス向上へ向けた職員への対応について所見を伺う
			大綱 3 北方領土問題の解決促進へ向けた本市の取組について (1) これまでの取組と今後の取組について所見を伺う (2) 市内小中学校における取組について所見を伺う
22	7	高橋雅博	

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項
23	25	後藤錦信	大綱４ 若い世代からの健康づくりとプレコンセプションケアについて （１） 本市におけるプレコンセプションケアの認識について所見を伺う （２） 学校教育・若い世代への普及啓発について所見を伺う （３） 妊娠・出産・不妊・性に関する相談体制について所見を伺う 大綱１ 国道１０８号における土砂崩れと通行止めへの対応について （１） 現状把握と復旧状況について ア 被害状況と市の認識について イ 復旧に向けた取組と一層の安全，安心な道づくりに向けての県，国への働きかけについて （２） 鬼首地区の防災，減災に向けた道路ネットワークの強靱化について ア 迂回路，生活道路の確保と整備促進について （３） 気候変動を見据えた対策について ア 法面保護や倒木対策等防災点検の強化について イ 情報伝達の在り方について 大綱２ 鳴子温泉郷のこれからについて （１） 現状の認識について （２） 空き店舗や施設の跡地利活用について （３） 二次交通，アクセスの確保と道路整備について （４） 地域資源を生かした持続可能な観光地づくりに向けた環境整備について